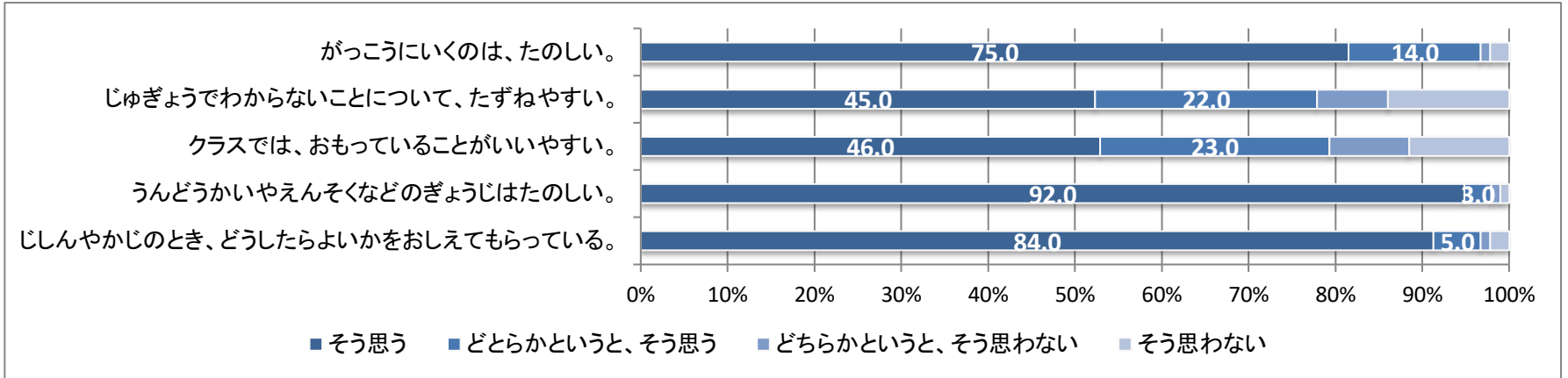


学校教育診断アンケートの結果について

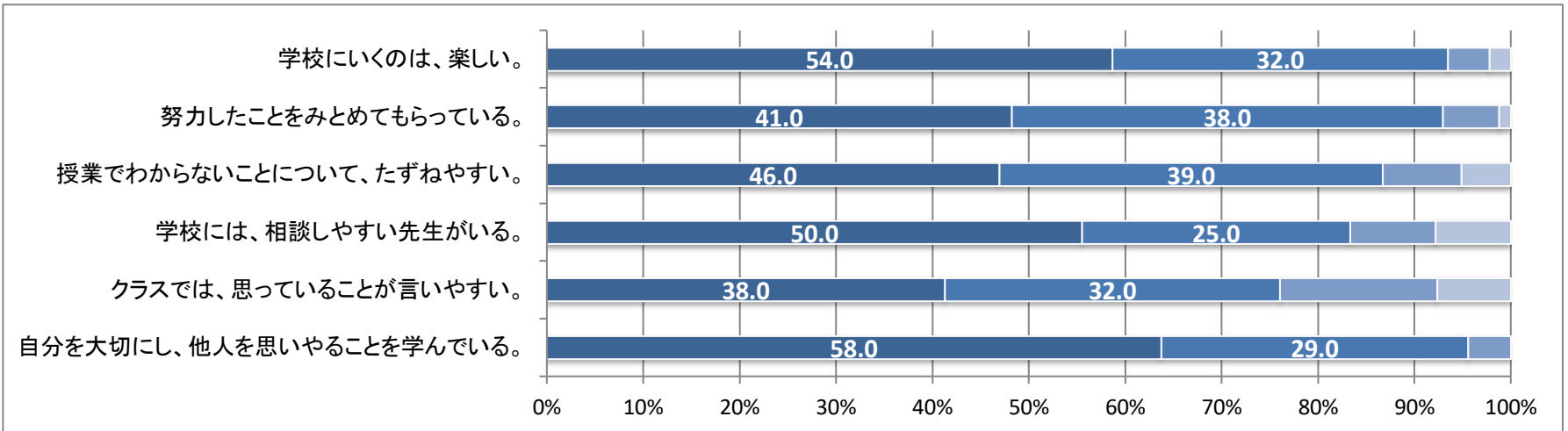
平素より、本校の教育活動推進にご理解とご協力を頂き厚くお礼申し上げます。さて、昨年11月に実施いたしました「学校教育診断アンケート」の集計並びに考察が完了しましたのでご報告いたします。低学年児童、高学年児童、保護者のアンケート集計結果をグラフで表し、併せて成果と課題についてお知らせいたします。なお、紙面の関係で、一部の集計結果しか掲載できませんが、全ての集計結果については、学校ホームページにて掲載しておりますのでご覧ください。

低学年アンケート

* 数字は%です。



高学年アンケート



【児童アンケートから】

《低学年》

○成果としては、「学校へ行くのが楽しい」(89%前年度比+3%)「じどうかいやえんそくなどのぎょうじはたのしい」(95%で前年度比+2%)「じしんやかじのとき、どうしたらよいかをおしえてもらっている」(89%)といった項目で「そう思う」「どちらかという、そう思う」という肯定的な回答が多かったです。学校行事や児童会行事などに楽しんで参加している児童が多かったです。また、学校での避難訓練などの指導が生かされて、災害時に命を守る方法、命の大切さや決まりについても、子どもの中に意識づけられているようです。

◆課題としては、「そう思わない」「どちらかという、そう思わない」という否定的な回答が多かったのが、「クラスではおもっていることがいいやすい」(18%)「じゅぎょうでわからないことについてたずねやすい」(19%)「よくそとであそんでいる」(11%)という項目で、この傾向は昨年と変わっていません。授業中、わからない、教えてほしい、ということが言えなかったり、発言しにくいと思っている子が2割近くもいるということです。

《高学年》

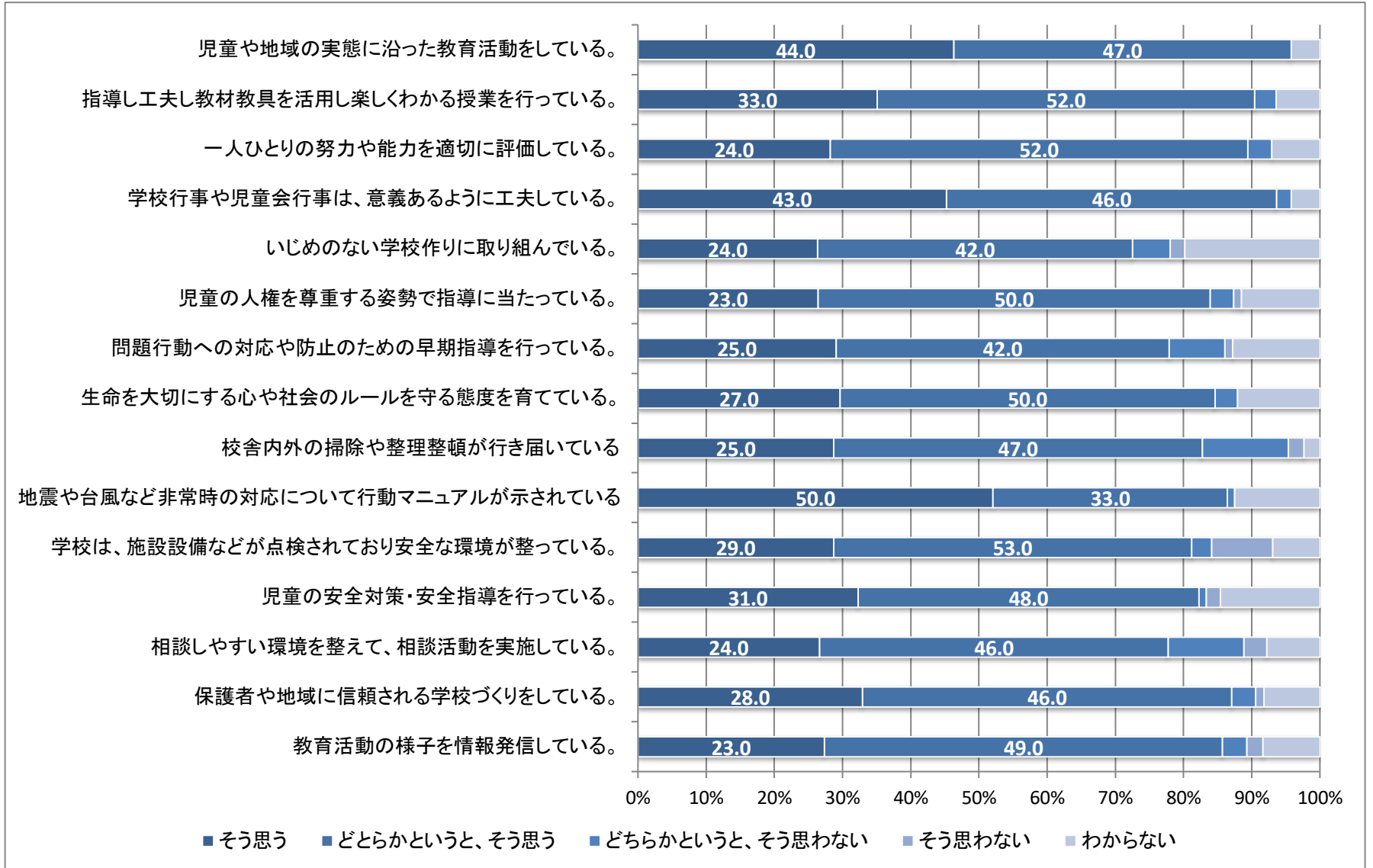
○成果としては、「運動会や遠足などの行事は楽しい」(95%)「児童会活動などは楽しい」「地震や火事の時、どうしたらよいかを教えてもらっている」(94%)「命の大切さや社会のルールについて学んでいる」(91%)という項目で「そう思う」「どちらかという、そう思う」という肯定的な回答が多かったです。学校行事や児童会行事は、ほとんどの児童が楽しむことができる充実した行事になっていると考えられます。また、避難訓練についても、児童が意義を理解し取り組んでいると考えられます。昨年「授業でわからないことについてたずねやすい」「そう思わない」「どちらかという、そう思わない」という否定的な回答をしていたのが27%から13%と減少しました。

◆課題としては、「そう思わない」「どちらかという、そう思わない」という否定的な回答が多かった項目は、「よく外で遊んでいる」(38%前年度比+7%)「学校には、相談しやすい先生がいる」(15%)である。高学年になるほど、外で遊ぶことが減っています。健康な体作りや、運動能力向上から考えると、体育の授業や行事以外でも外で体を動かすように促していく必要があると考えられます。「クラスでは、思っていることが言いやすい」が29%から22%に減少しましたが、自分の思っていることがクラスの中で言いづらいついていて考えている児童や、授業でわかりにくいことについてたずねにくいと考えている児童が増えています。児童がもっと自分の思いや考えを出しやすい環境作りをしていく必要があると考えられます。

アンケートの結果から、全体として学校行事については児童が積極的に楽しむことができるものとなっているようです。さらに充実させ、行事を通して望ましい人間関係を形成し、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てていきたいと思えます。低学年でも高学年でも、みんなの前で発言することが苦手と感じている児童が多いことについては、安心して発言できる環境づくりと、低学年のうちから、自分の思いや考えを発表する機会を授業の中で作っていく必要があります。ペア学習やグループ学習を取り入れるなど指導方法の改善に取り組み、児童のコミュニケーション力の育成を行っていきたく考えます。勉強のわからないところを聞きにくいと感じている児童が多いことについては、教師が児童との信頼関係をしっかりとつくっていく必要があるようです。児童の個性を理解し、適切な評価をしていくことで、児童の自尊心

情を高め、安心して字へる字綴づくりを進めていきたいと考えます。

保護者アンケート I



【保護者アンケートから】

○成果としては、おおむねどの項目についても、「そう思う」「どちらかという、そう思う」という肯定的な回答が多くなっていました。特に「学校は、児童や地域の実態に沿った教育活動をしている」(91%)「児童会行事や運動会、臨海学習などの学校行事は子どもたちにとって意義あるように工夫されている」(89%)という項目で肯定的な回答が高くなっています。

◆課題としては、「学校は問題行動への対応や防止のための早期指導を行っている。」「学校は、いじめのない学校作りに取り組んでいる」という項目で、8～7%が「そう思わない」「どちらかという、そう思わない」と否定的な回答となっています。また、いじめのない学校作りに取り組んでいるかわからない」という回答が昨年よりも減ってはいますが18%(昨年比-4.2%)もあります。

今年、トイレの全面改装が行われましたが、「学校は、施設設備などが点検されており安全な環境が整っている。」「学校の施設、設備は学校環境として満足している」という項目でも「そう思わない」「どちらかという、そう思わない」という否定的な回答が12～13%ありました。

「学校は相談しやすい環境を整えて、相談活動を実施している。」という項目で、13%が「そう思わない」「どちらかという、そう思わない」という否定的な回答で、7%が「わからない」という回答になっていました。2割の方が、学校の教育相談体制が十分ではないと感じているようです。

全体として、本校の教育活動、学校運営に関して、ご理解ご支援いただいているようです。ありがとうございます。

子どもたちが生き生きと学校生活を送れるようにしていくために、学校として大事にしている「わかる授業」や「人権意識の向上」「いじめのない学校」といった取り組みについてさらにご理解いただけるよう、学校よりさらに発信していく必要があるようです。いじめ防止に関しては、「いじめ防止基本方針」を毎年見直すとともに、生活アンケートを実施し児童の実態把握に努めています。人権の取り組みは「平和」「男女共生」「障がい者理解」「外国人理解」「福祉」の柱で全学年で取り組んでいます。人権講演会への保護者の方の参加を呼び掛けたり、授業参観において「人権学習」や「道徳」の授業を参観していただく機会を作っていきます。

また、教育相談に関しては、保護者の方が気軽に相談に来ていただけるよう担任との信頼関係を構築するとともに、学校以外の出張教育相談やSSWによる相談に関してもわかりやすくお知らせしていくようにします。

《記述事項に関して》 よりよい学校にするためのご意見をお聞かせいただきました。

* 教育内容に関して(3件) 多様性教育、情報教育の充実、読書活動の推進、というご意見がありました。新教育課程の中で年間指導計画に基づいて行っていきたく思います。

* 教員の指導力向上について((3件) 個々の教員が子ども理解を深め、学級経営、課外クラブ等の指導にあたって欲しいというご意見がありました。校内において授業研究、人権教育、生活安全指導について計画的に研修を行っています。また、それぞれのライフステージに応じて吹田市教育センター、大阪府教育センターでの研修の機会もあります。それらを活用し、日常的に日々の教育活動の中で、指導力向上に努めていきます。

* 学校運営に関して(2件) 年3回、学校評議員会議を行い学校運営に関して、5名の評議員さんからそれぞれご意見をいただきながら進めています。いただきましたご意見も評議員さんと共有しながら学校運営に生かしていきます。

* 情報発信・その他に関して(5件) 学校のホームページや学級通信などによる情報発信を充実してほしいというご意見がありました。また、登下校みまもりシステムを使ったメール配信について不十分というご意見がありました。学校教育活動の様子については、保護者、地域に学校を開き、参観等の機会をつくることで情報提供するとともに、HPIにおいて学年、学校行事、課外クラブの各ブログをアップしております。ぜひご覧ください。ついたもののメール機能では、原則緊急メールに限っての使用になっています。必要なことはなるべく丁寧に文書でお知らせするようにしています。

まろのじご理解ください。

* PTA活動に関するご意見がありました。PTA役員会で共有したいと思います。

様々な、ご意見をありがとうございました。